【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～〈重点目標〉目標達成に向けて、ねばり強く努力する生徒
平成２９年７月２０日（木）第４号
発行責任者：校長　熊澤　正人
TEL　２２－３８０２

原町三中だより

一人一人が誠実に学校生活を送った一学期！

平成２９年度第一学期終業式

７２日間の一学期が今日で終了しました。

この間、交通事故等の大きな事故もなく生徒全員が無事に一学期を終えることができました。地域・保護者の皆様の見守りと励ましのおかげです。心より感謝申し上げます。

一学期の生徒の姿

三中では今年度の重点目標である「目標達成に向けて、ねばり強く努力する生徒」を目指して教育活動を行ってきました。各学年から上がってきた生徒の姿をまとめると次のようになります。

【学習面】

良い点は真剣な態度で授業に臨み、課題解決に積極的、意欲的で、自分の考え、思いを発表する、期限を守り課題を提出しようと努力することがあげられます。

改善点はこつこつ、繰り返し、諦めず粘り強く知識の定着を図るよう取り組むこと、深く考えたり、苦手な教科・単元にも取り組んだりすること、自主学習の進め方を工夫し効率的な学習を行うことなどです。

【生活面】

良い点は落ち着いた生活、係や委員会の仕事は進んで行っていること。清掃など時間内に効率よく働くことができ、時間やルールを守ろうとしていること。部活動も意欲的であることがあげられます。

改善点は周囲のことを考えて自分の行動をコントロールすること。スマホ・ネットの対戦ゲームなどで生活のリズムが不規則になりがちになること、超えなくてはならない壁を意識して自分を向上させることなどです。

概ね三中生一人一人が誠実に学校生活を送っていることが感じられます。

二学期への課題として

生活の改善点で「超えなくてはならない壁を意識して自分を向上させること」という部分は二学期に向けての重点課題と考えています。

そのために一人一人に目標をしっかりと意識させ、すぐには達成できない目標でも、粘り強く努力することを支援していきます。

生徒が頑張る原動力は、自分に自信をもつことです。やればできるという実感をもつことです。生徒は夏休みの目標と計画を立てています。この休み中、計画を実行していくことで、やればできるを実感して欲しいと思います。学校では休み中も積極的に生徒に声かけしていきますので、ご家庭でも励ましの声かけをお願いします。

夏休み中の生活に読書の時間を

四月の始業式に「月に２冊、本を読もう」という年間の宿題を生徒に出していました。一ヶ月以上の休みです。本日の終業式では「本を読む時間を生活の中に入れましょう」と全校生徒に呼びかけました。多感な中学生の時期です。本を通して自分の世界をより広げてほしいと願っています。

最近「学年ビリのギャルが１年で偏差値を４０上げて慶應大学に現役合格した話」（坪田信貴：KADOKAWA）という本を読みました。内容に惹かれて２日で読了でした。単に勉強を頑張ったという話ではなく、子育て、子どもにやる気を出させるポイント、人間が本気で頑張ったときのエネルギーを感じました。お薦めの一冊です。学校の図書室にもあります。



【終業式・１学期の反省発表の一コマ】